

《令五年度 暗唱⑤》

「風の又三郎」

宮沢 賢治

どっどど どどうど どどうど どどう
青いくるみも 吹きとばせ
すっぱいかりんも 吹きとばせ
どっどど どどうど どどうど どどう

谷川の岸に 小さな学校がありました。

教室は たった一つでしたが、生徒は
三年生が ないだけで、あとは 一年から 六
年まで みんなありました。運動場も テ
ニスコート のくらいでしたが、すぐうしろは
栗の木のある きれいな草の山でしたし、運
動場の 隅には ごぼごぼつめたい水を噴
く 岩穴も あったのです。

さわやかな 九月一日の朝でした。青ぞらで
風が とうと鳴り、日光は 運動場 いっぱい
でした。